

岩城新聞

行發日四十月四
定額一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
零售每份五分
電話二二三〇番
印刷部 電話二二三〇番
編輯部 電話二二三〇番
社址 磐城新町
支店 仙台 盛岡 水戸 宇都宮 東京

嚴愛の子女教育

古河英義 前松 佐嘉

故にこの意味に於て青少年の教育は専ら父母の責任にあるものとして細心の注意を願ひたいのであります。今は情の方面は始り除いて、意育の點について述べます。凡そ人の親として我子の可愛くない者はありませぬ、目に入れても痛くないと云ふが實際目に入れても痛くないのが親の情であり、鳩ボツボツ等は開れり我子の可愛くない見ゆる葉櫻のかげ

磐新歌壇

○古城の唄に一筋の虫の跡、衰へて行くもの幻影がある
○登りつめた道、そこに廣がつた一面の海、僕の若さを湛へてある海
○考へる、押しひねる、又考へなほす、かくて長夜が更けて行く
○思出の像 袖 崎 秋 雄
○奥深い演説、親しい量感持つ白砂に、ひろげられた會話
○空気に確かにある霧の音、生計求めて濱女たち、演の無限を歌つて行く

春季短歌會

本社 春季短歌會
四月廿九日午前十時よりマルトモホールにて
兼 題「春」「散」各一首
詠草締切 四月廿七日
會 費 金貳拾錢 (査食代)
(當日持参五分受付券断り)

潮聲

潮 聲
研 叙 法 究 批 評 自 註
波 邊 武 門
關にと、潮音がわたりぬ春近し
自 故里は山間の僻村である。三方山につまられて一方が田畦になつて開けて居る小高丘に上るとはるかに大洋が見ゆる、冬は相當に雪が多い、裏を流る小川が清い、春近くなると戸外は雪が消れぬ早寝の夜が長く、そと来た春の氣配に川上の雪がとけて濁水を濁を増して潮音が高くなり枕上に自然の音楽が奏せられると、明日から戸外に出て思ふ存分働ける春のよるよるのこびが

其子の悪しきを知らば禁せしめざれば悪つひに長じて一生不肖の子となり或は家と身を保たずやましき事ならずや
柴刈り 和 夫
通り言はれて居ります
愚なる人は子を育つる道を知らで常に子を驕らしめ氣障なるを戒めざる故その驕り年の長するに従ひて愈々増す、凡夫は心暗くして子に迷ひ愛に溺れてその悪しき事を知らざり、唐土の諺に「人の子の悪しきを知らば、凡そ人の親となる者は我子を増す、實なしと思へど、その子の悪しき方に移りて後身を失ふことをも、か

浪人長屋

浪人長屋 日 枝 武 志 作
月 草 道 子 書
女 難 (62)
女中が何かはこんで来た
むし刺と、ささのつばや
「さ鐵之助様、少し熱いのいた。そのうなまをさおきて」
鐵之助は照れて、うつむきかへた
「お、鐵之助さま、そのお杯をくださいな、あたし今晩はうれしくてたまらないんです。すつかり酔はしていただきな」
漸く四十女の、餓えたやうなうつたへるやうな眼差しが、白い肌、干いた唇が、蛇のやうに喘きはじめるのである
「おは、飲ませませぬ」
鐵之助、女のほほにはあはれ、思つまるやうに吐息した
妖しい眼にかつたやうなものは逃れることが出来ぬのである
「お秋はじりじり、鐵之助の方へにちも寄つて」
「すつかり、酔ひませうよ」
白い大きなつじの花のやうに、女の顔が、あたしはくらくらすると、鐵之助は、くらくらと目まがひがするやうに、女の酒の中に酔ひしれてしまったのである



「でも奥さま、このみちばかりは、わかりませんでさう。一つ今夜鐵之助さまにあつてみてはいかゞでござんす」
「ま、ばかだね、富やばかだね、お秋は惚れ惚れとみとれ」
お秋は惚れ惚れとみとれと言つた
「ほんに歌舞伎役者みたいで、お秋に美しき方ですと、富やみたないものでも、なままきけなかつた
「な、お秋さま、なかなかに隔にやらかな光りを、ほのかに照らすに、お秋さま、お言ひなさいな」
「ほんとですもの奥さま」
女二人ははなやかに笑つた
「お秋さま、またどつと聲をあげて、はしやいた。鐵之助は苦笑したまふ、口がみたないものでも、なままきけなかつた
「お秋さま、なかなかに隔にやらかな光りを、ほのかに照らすに、お秋さま、お言ひなさいな」
「ほんとですもの奥さま」
女二人ははなやかに笑つた
「お秋さま、またどつと聲をあげて、はしやいた。鐵之助は苦笑したまふ、口がみたないものでも、なままきけなかつた
「お秋さま、なかなかに隔にやらかな光りを、ほのかに照らすに、お秋さま、お言ひなさいな」
「ほんとですもの奥さま」
女二人ははなやかに笑つた

特製 雛人形 賣出し

雛道具 賣出し
例年の通り店内陳列をいたしました
ぜひ御覽下さい。
平町三丁目
金太郎玩具店

雛人形の大市

東京一流の名作品を取揃へ賑々しく陳列いたしました。例年の如く格安品も澤山御座います是非御覽下さい
雛人形一箱入 三十五錢より
雛人形一箱入 四十五錢より
雛人形一箱入 五十五錢より
雛人形一箱入 六十五錢より
雛人形一箱入 七十五錢より
雛人形一箱入 八十五錢より
雛人形一箱入 九十五錢より
雛人形一箱入 一圓より
雛人形一箱入 一圓二角より
雛人形一箱入 一圓五角より
雛人形一箱入 一圓八角より
雛人形一箱入 二圓より
雛人形一箱入 二圓五角より
雛人形一箱入 三圓より
雛人形一箱入 三圓五角より
雛人形一箱入 四圓より
雛人形一箱入 四圓五角より
雛人形一箱入 五圓より
雛人形一箱入 五圓五角より
雛人形一箱入 六圓より
雛人形一箱入 六圓五角より
雛人形一箱入 七圓より
雛人形一箱入 七圓五角より
雛人形一箱入 八圓より
雛人形一箱入 八圓五角より
雛人形一箱入 九圓より
雛人形一箱入 九圓五角より
雛人形一箱入 一圓より
雛人形一箱入 一圓二角より
雛人形一箱入 一圓五角より
雛人形一箱入 一圓八角より
雛人形一箱入 二圓より
雛人形一箱入 二圓五角より
雛人形一箱入 三圓より
雛人形一箱入 三圓五角より
雛人形一箱入 四圓より
雛人形一箱入 四圓五角より
雛人形一箱入 五圓より
雛人形一箱入 五圓五角より
雛人形一箱入 六圓より
雛人形一箱入 六圓五角より
雛人形一箱入 七圓より
雛人形一箱入 七圓五角より
雛人形一箱入 八圓より
雛人形一箱入 八圓五角より
雛人形一箱入 九圓より
雛人形一箱入 九圓五角より

ヒナ人形御道具類 特價大賣出し

人形御道具類並に高級御殿等例年通り豊富に山積致して有ります
當店は元來御客様本位主義を以て大勉強致しまして是非御来店の程を御待ち致します。
平町三丁目日本通り
落花生問屋
實際物元祖 加藤商店

日本開店

一週間限り二割引
カフエー松ケ岡は長年ノ御引立チ頂キマシテ。今年度平銀座ニ進出スル事ガ出来マシタ
遠近又ハ多少ニ不拘御下サイ出前ハ迅速ニ致シマス
壽司ト小料理モ江戸仕込ミノ見ナシガ腕ヲ振ツテ御馳テ致シマス
平の銀座 カフエー天地 壽司 店主 高橋 壽司 (電話 679番)

安齊外科醫院

入院隨意 自費の便あり
平町町赤心堂病院隣(電話四七五番)
安齊外科醫院
内 科 外 科
花柳病科
入院隨意 自費の便あり

御花見の御催し

宴會等の節は
敷物、幔幕等準備致し置ますから大小不拘御用命の程を御待して居ります
折詰の御注文は特に勉強致します。
公園内
割烹 尼子亭
電話二二三〇番

美味で評判の イウキサロン

平町電三五二

銘木ト建築木材ノ御用命

今一番勉強スル當店へ
建築材一式
便利瓦
余織田材木商店
電話 四六〇番

新車購入御披露

御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!!! 本縣下第一車が皆様の昭和へ入りました
ニ一アクシオン装置絶好の乗心地、是非御試乗の程御願ひ致します。
呼び良い電話三四〇番増設致しました。
平町前 昭和タクシー 電話 三四〇番

専門優良車

乗心地の超特快適な
フード最新型車着
何卒御用命願ひませう
平町四丁目
鈴木自動車部 電話二一七番

楽しい春が訪れました

御家族様連れの御散策にも
急を要する御商用にも
是非 尼子タクシーを
御願致します。
平二 電六四〇番

開店披露賣出しの感謝と御禮に

「お子様サービス」
坊チャマ娘チャマにほんとうにおいしい! 東京堂のパンを召上つて頂く為には日曜日とビュスを致します。
日曜日の御買上にはオモチャを差上ります。
「御家庭サービス」
御家庭にサンデービスを致します。
毎日曜日の御買上には三十錢以上に新製品を又はおかしいお菓子差上ります。
△多少に拘らず御用命の程を
東京の味を其まのパン屋
へーカリー東京堂
平町才地小路 電話(呼)二二七番

安齊外科醫院

内 科 外 科
花柳病科
入院隨意 自費の便あり
平町町赤心堂病院隣(電話四七五番)
安齊外科醫院

美味で評判の イウキサロン

平町電三五二

美味で評判の イウキサロン

平町電三五二

明朗な高月の學徒は 快步調で登龍の門へ 今春以降の合格五十二名

第一組 遠藤泰助、鎌久保町、白銀町、二丁目、南里、五丁目、戌辰組、長橋第一、日立、電六、城山一組、六美、以上五名

納税成績向上策 唯野平稅務署長力説

貫主就任を記念し 長源寺畔に植樹

情痴の放火

四倉通信

優良納稅表彰 六十二組、五管理署 けふ平町で擧式

全地主應諾に傾きの 南裏貫通道路

第三校通學道路 來月下旬頃竣功決定

花の松ケ岡に沸る 歡樂のるるっば

地主側軟化

宇部炭田に於ける炭 礦聚落の漸移機構

土の神秘を探る 警城博物館の一行

第三校児童 岩手縣 成績品出陣

地主側軟化 (續)

宇部炭田に於ける炭 (續)

礦聚落の漸移機構 (續)

礦聚落の漸移機構 (續)

内郷から警炭へ 教育費補助増額交渉

平商校週是

宇部炭田に於ける炭

礦聚落の漸移機構

礦聚落の漸移機構

礦聚落の漸移機構

平牛乳舎 電話二六八番 品質第一 亡夫重之儀 永ラク病氣ノ處 養生不相叶四月十三日午前三時小名濱町竹町假寓ニ於テ死去仕り候生前御厚誼ヲ拜謝シ御通知申上候